

予防接種に関する今後の取り組みについて

1 男子に対するHPVワクチン任意予防接種費用助成の実施について

(1) 事業の概要

HPV(ヒトパピローマウイルス)は、女性の子宮頸がんの原因であるが、男性においても性感染症やがんを引き起こす。現在、女子に対しては、予防接種法に基づく定期予防接種が実施されており、全額公費で接種が可能であるが、男子の接種は任意予防接種となるため、全額自己負担であり、接種には経済的な負担が伴う。

HPVに感染した男性との性交渉による女性への感染及び子宮頸がんの発症を防ぐとともに、男性の性感染症を防止し、接種を希望する保護者の経済的負担を軽減するため、小学6年生から高校1年生までの男子を対象に任意予防接種の費用助成を行う。

(2) 対象者

中野区在住の小学6年生から高校1年生の男子

(3) 実施開始予定

令和5年8月1日(令和5年度の高校1年生は、接種期間を充分確保するため、令和7年3月31日まで接種可能)

(4) 実施場所

中野区内実施医療機関

(5) 助成額・回数

接種費用全額を助成する。

接種完了となる3回

(6) 対象ワクチン

4価HPVワクチン

(7) 助成方法

医療機関に備え付けられた当制度専用の予診票を使用することにより、無料で接種する。

(8) 広報

対象者に対し、制度周知のハガキを発送

区ホームページ（7月中旬）、区報（7月20日号）

医療機関や公立学校を中心とした教育機関へのチラシ・ポスターの配布

SNS等を活用した広報

(9) 償還払い

対象者が区内実施医療機関以外で接種した場合、その接種記録、領収書等を添えて申請を行うことで、区で定めた金額を上限として費用助成を行う。

2 インフルエンザ任意予防接種費用助成対象の拡大について

(1) 事業の概要

季節性インフルエンザの任意予防接種費用助成は現在、生後6か月から小学校入学前までの未就学児を対象として行っている。これを、学校生活における感染拡大防止や保護者の経済的負担の軽減を目的として、小中学生まで拡大する。

(2) 対象者

中野区在住の小学1年生から中学3年生までの児童・生徒

(3) 実施開始予定

令和5年10月1日

(4) 実施場所

中野区内実施医療機関

(5) 助成額・回数

1,000円／1回

13歳未満 2回

13歳以上 1回

(6) 助成期間

令和5年10月1日～令和6年1月31日

(7) 助成方法

接種を希望する方は、医療機関が定めた接種単価から（5）の助成額を差し引いた金額を医療機関窓口で支払う。

(8) 広報

区ホームページ（9月中旬）、区報（9月20日号）
医療機関等へのポスター掲示 SNS等を活用した広報

(9) 償還払い

対象者が区内実施医療機関以外で接種した場合、その接種記録、領収書等を添えて申請を行うことで、(5) で定めた金額を上限として費用助成を行う。

3 女子を対象としたHPVワクチン（定期予防接種）における9価HPVワクチンの追加について

(1) 概要

令和4年11月8日に開催された第50回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本検討部会にて、現在、薬事承認されている組換え沈降9価ヒトパピローマ様粒子ワクチン（以下、9価HPVワクチンとする。）について、令和5年4月1日より、定期予防接種の対象とすることが決定された。これによりHPVワクチンは、2価、4価、9価ワクチンの使用が可能となる。

9価HPVワクチンは、これまで定期予防接種の対象であった、2価・4価HPVワクチンよりも、多くのHPV遺伝子型を標的としており、その定期予防接種化により、子宮頸がん及びその前がん病変の罹患率の減少、子宮頸がんの死亡率の減少を目的としている。

ア 接種回数・標準的な接種期間

3回

2回目は初回接種の2か月後、3回目は6か月後に接種

イ 2価または4価HPVワクチンとの交接種

原則、同一ワクチンの接種が推奨されている。

1回目もしくは2回目まで2価・4価ワクチンを接種済で、以降の残り回数を接種するにあたり、9価HPVワクチンを希望する場合は、適切な情報提供に基づき、医師と被接種者がよく相談した上で、9価HPVワクチンを選択することが可能である。

ウ キャッチアップ接種対象者

定期予防接種の対象者と同様に取り扱う。

(2) 区への対応

ア 周知

令和4年度定期予防接種の対象者（小学6年生から高校1年生の女子）に対し、ハガキを送付する。

また、令和5年度に新たに定期予防接種の対象となる小学6年生の女子に対しては、令和5年7月頃、9価HPVワクチンが明記された新たな予診票を作成し、送付する。

イ 接種

令和4年度の定期予防接種対象者は、9価HPVワクチンの名称や選択項目を設けた新たな予診票は発送せず、既に区が発送した予診票を利用して、9価HPVワクチンを接種可能とする。